

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------|----------------|-------------------|
| ○事業所名 | みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 年 月 日 | | ～ 年 月 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 0 ※今年度利用実績0のため | (回答者数) 0 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 12 月 22 日 | | ～ 令和 8 年 1 月 17 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 5 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 年 月 日 | | ～ 年 月 日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 0 ※今年度利用実績0のため | (回答者数) 0 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 2 月 12 日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1 | カンファレンスで活かせる専門職からの視点 | 日常の様子も踏まえた、専門職の視点をもって助言できる支援の方向性の共有 | 専門職の視点をもって対象児の強みを活かせる環境調整を行っています。 |
| 2 | 移行支援における就園・就学先施設との情報共有 | 支援会議を通じた移行時の連携及び情報共有 | より多くの関係機関と連携し、対象児が安心して就園・就学・進級できるよう情報共有を行っています。 |
| 3 | 共通の視点を持った療育の提供 | 集団で過ごすことを踏まえた、生活スキル及び社会性を育むためのサービスの提供 | 集団で過ごす上で必要となるスキルをひとつひとつ丁寧に支援しています。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------------------|------------------------------------|
| 1 | 福祉サービス(保育所等訪問支援)の周知不足 | 並行通園先等への周知不足 | 相談支援専門員をはじめ、各関係機関との連携及び周知を進めていきます。 |
| 2 | 支援の安定した継続 | 対象児に対する支援のメリットの明確化等、積極的な介入 | 支援の方向性について、定期的な面談等行っていきます。 |
| 3 | 訪問先施設との情報共有の不足 | 日々の様子の他、園行事での様子等含めた細かな情報共有の不足 | 対象児の日々の様子等について、定期的な情報共有等行っていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」 | | | | 公表日 | 令和8年2月20日 |
|----------|---|---|-----|---|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・運営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 5 | 0 | 専門職からの視点も踏まえた教具教材を使用しています。 | 強みを活かせる教具教材にも着目していきます。 |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 0 | 相談会等の地域支援と重ならないよう日程調整が必要な場合があります。 | 事前に余裕をもった日程調整を行っています。 |
| 業務改善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | 0 | グループ目標に沿って職員全員が携わっています。 | 改善点がある場合は、その都度話し合いを行い、見直していきます。 |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | 保護者の意見を全体で共有し、改善に向けて話し合いを行っています。 | 保護者向けアンケートを実施し業務改善に努めていきます。 |
| | 5 | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | 毎月支援会議を実施し、課題に対しての話し合いをしています。 | 改善点がある場合は、その都度話し合いを行い、見直していきます。 |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | OT・ST・PT・心理等の専門職からの指導を受け改善しています。 | 定期的を受審し、業務改善に努めています。 |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | 法人内での内部研修に参加しています。 | 専門職派遣を通して、資質の向上を図っていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 8 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 5 | 0 | 契約時にアセスメント等を通してご利用児の特性に沿った支援計画を作成しています。 | 支援者間で共通理解を図り課題設定に繋げていきます。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | 0 | 支援会議等で支援内容に沿った話し合いを全員で行っています。 | ご利用児の様子を把握しより良い支援につなげていけるよう全体で検討していきます。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 5 | 0 | 保護者からの要望と合わせてご利用児の様子を丁寧に確認していきます。 | 利用開始前に行われる会議の場で意向を共有していきます。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 0 | 職員間で共有し個別や集団での支援を行っています。 | 保育所等訪問支援のみのご利用児については全体での共有はできていません。 |
| | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 0 | 専門職とのカンファレンスでフォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメントの両面から確認しています。 | フォーマルなアセスメントが十分に活用できるように努めていきます。 |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 0 | 保護者から意見を伺い作成し定期的に見直しを行っています。 | 質の高い支援が提供できるよう、ガイドラインに沿って設定していきます。 |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | 0 | より良い支援を提供していく目的においての共有を随時行っていきます。 | 目標や支援内容を共有し、いろいろな場に応じた支援を行っています。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 0 | 朝礼時に確認し、ボードを利用し変更点など共有できるようにしています。 | 朝礼時に、保育内容・伝達事項など共有し配慮に努めています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 0 | 翌朝の朝礼時に振り返りと情報共有を行っています。 | 職員間でのコミュニケーションを密にし、急ぎの要件は当日中に全員で情報共有を行うようにします。 |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 5 | 0 | 現在行われている支援手法の良い点に着目していきます。 | 訪問先の理念を尊重することを意識していきます。 |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 5 | 0 | 毎日記録をとっています。日々異なる職員が記入するため、様々な視点の記録になっています。 | 支援会議等で記録内容を共有し、検証・改善につなげていきます。 | |
| 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | 定期的にモニタリングを行い、専門職からの情報も活用し見直しを行っています。 | 今後も職員全員で協議していきます。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 0 | 児童発達支援管理責任者が参画しています。 | 必要に応じて保育士も参加していきます。 |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 0 | 相談支援専門員を通じて連携をしています。 | 医療との連携についても体制を整えていきます。 |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 0 | 就学前の会議等を通じて情報共有を行っています。 | 移行先の担任の先生との情報共有にも努めていきます。 |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 5 | 0 | 定期的に専門職からの助言を頂いています。 | 外部研修の参加についても機会を増していきます。 |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 5 | 0 | 管理者が参加しています。 | 今後も参加の機会を増していきます。 |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | 0 | 日々の様子を連絡帳や福祉ソフトHUGにて情報共有を行っています。また送迎時や必要に応じて電話連絡でも共通理解を図っています。 | 今後も丁寧な対応を心掛けていきます。 |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 0 | 定期的に"オープンデー"を実施し、専門職に相談できる場を設けています。 | 家族が参加できる研修開催を増していきます。 |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 0 | 契約時、保護者の時間が可能な限り1つずつ説明しています。質問等にはその場で対応しています。 | 保護者の方の時間が許す限り、今後も丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 5 | 0 | 支援開始前の会議にて行っています。 | 相談支援専門員も含め説明を行い、目的等を共有していきます。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0 | 定期的に面談を行い、保護者の意向を確認しています。 | 今後も保護者の意向を丁寧に聞くことを心掛けていきます。 |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 5 | 0 | 半年ごとに児童発達支援計画を保護者に提示しながら説明をし、同意後サインを頂いています。 | 保護者の都合の良い時間に合わせて対応し、丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | 連絡帳や福祉ソフトHUG、電話などを通じてその都度相談に応じています。 | 福祉ソフトHUGの導入により、時間を問わずつながりができつつある。活用が広がるようにしていきます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | 保護者会は開催できませんでしたが、親子遠足で交流する機会を設けました。 | 今後は保護者同士で交流できる会を開催します。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | 0 | 申入れがあった場合は、迅速に対応できるようにしています。 | 今後も適切に対応していきます。 |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 0 | 「プリンちゃんだより」を毎月各家庭に配布したり、法人HPにて行事の様子等を掲載しています。 | 福祉ソフトHUGでタイムリーな情報を発信していきます。 |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | 契約時に取扱いに関する確認を書面にて行い個人情報のファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。 | 今後も十分に留意して扱っていきます。 |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | 0 | ご利用児には視覚支援カード等を用いた支援を行っています。保護者については電話連絡等で情報伝達をしています。 | 今後もスムーズにコミュニケーションがとれるよう配慮していきます。 |
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 5 | 0 | 訪問支援以外での相談にも応じる体制をとっています。 | いろいろな相談に応じられるよう専門性の向上に努めていきます。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 5 | 0 | 実施後は都度行っています。 | ご利用児に対するより良い支援につながることを目的にカンファレンスを行っていきます。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 5 | 0 | 実施後は都度行っています。 | ご家族の安心につながるよう丁寧に共有を行います。 |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | 0 | 契約時に取扱いに関する確認を書面にて行い個人情報のファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。 | 今後も十分に留意して扱っていきます。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|-----------------------------------|---|
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 5 | 0 | 現在行われている支援を活かしながら助言できるような心掛けています。 | 専門職の視点も踏まえた助言を行っています。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 0 | 職員間でマニュアルをもとに定期的な訓練を行っています。 | 家族に向けてマニュアルの周知が進むよう、福祉ソフトHUGの活用を検討します。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 0 | 安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。 | 今後も安全管理に努めていきます。 |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | 0 | 日々記録を残すと共に再発防止会議を行っています。 | 結果を検証し対策を講じる等迅速に行っていきます。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | 0 | マニュアルの周知及び外部講師を招いた研修会等に参加しています。 | 研修参加及び伝達研修を行うことで職員全員が虐待防止の意識付けを行っています。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | 0 | 会議において組織的に決定する体制を整えています。 | 今後やむを得ない場合が生じた際は、十分な説明と了解をもとに計画に記載していきます。 |